

みずほCustomer Desk Report 2025/09/02号(As of 2025/09/01)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	147.26
TKY 9:00AM	147.13	1.1690	172.10	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	147.38	1.1737	172.52	1.3510	0.6544
SYD-NY Low	146.79	1.1686	172.00	1.3550	0.6560
NY 5:00 PM	147.19	1.1711	172.41	1.3500	0.6536
				1.3549	0.6555
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	-	-	日本2年債	0.8800%	0.0100%
NASDAQ	-	-	日本10年債	1.6200%	0.0200%
S&P	-	-	米国2年債	-	-
日経平均	42,188.79	▲ 529.68	米国5年債	-	-
TOPIX	3,063.19	▲ 11.99	米国10年債	-	-
シゴ日経先物	-	-	独10年債	2.7486%	0.0264%
ロンドンFT	9,196.34	9.00	英10年債	4.7520%	0.0300%
DAX	24,037.33	135.12	豪10年債	4.3250%	0.0290%
ハンセン指数	25,617.42	539.80	USDJPY 1M Vol	9.91%	0.36%
上海総合	3,875.53	17.60	USDJPY 3M Vol	9.73%	0.03%
NY金	-	-	USDJPY 6M Vol	9.67%	0.00%
WTI	-	-	USDJPY 1M 25RR	▲ 1.17%	Yen Call Over
CRB指数	-	-	EURJPY 3M Vol	8.14%	0.02%
ドルインデックス	-	-	EURJPY 6M Vol	8.55%	0.06%

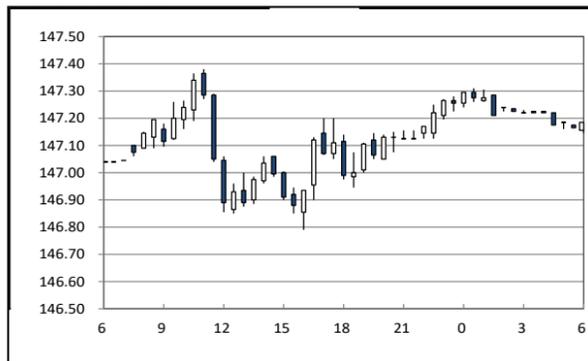
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
9月1日	18:00	欧 失業率	7月 6.2%	6.2%

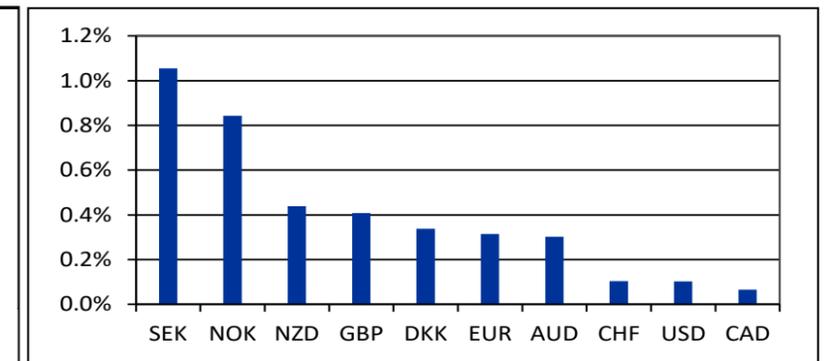
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月2日	10:30	日 氷見野日銀副総裁 講演	2-Sep -	-
	14:00	日 氷見野日銀副総裁 記者会見	2-Sep -	-
	18:00	欧 CPI速報値(前月比/前年比)・速報	8月 0.1%/2.1%	0.0%/2.0%
	22:45	米 製造業PMI・速報	8月 53.3	53.3
	23:00	米 ISM製造業景況指数	8月 49.0	48.0

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	146.20-147.70	1.1650-1.1800	171.50-173.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円相場はレーバーデーで米国休日の中、147円ちょうどを挟んだ揉み合いとなり、茲許のレンジ内での値動きに終始した。米3連休明けとなり、本日からが実質的な9月相場スタートとなる。経済イベントとしては、本邦にて氷見野日銀副総裁の講演及び記者会見、米8月ISM製造業景況指数に注目している。氷見野副総裁の講演は「不確実性」や「見通しが実現すれば利上げ」と従来通りのコミュニケーションとなる公算が大きく、相場への影響は限定的か。また、米ISM製造業景況指数は好不況の分かれ目である50割れが続いているが、中でも雇用項目の縮小ペースが加速している。週末の雇用統計を前に雇用市場の減速を示唆する結果となれば、ドル売り圧力となるため警戒しておきたい。

東京	東京時間のドル円は147.13レベルでオープン。仲値にかけて強まったドル買いの流れから、一時147.38まで上昇するも、半導体関連を中心とした日本株市場の軟調な推移や、翌日に氷見野日銀副総裁の講演を控えた警戒感等もあってか、その後反落。147円を割れた水準では一旦サポートが入るも、東京時間引けにかけても再度売り圧力が強まり、一時146.85まで値を下げ、146.88で海外時間に渡った。
ロンドン	米国のレーバーデー(労働者の日)の祝日により、市場は静かな展開となった。ドル円は146.88レベルでオープンし、方向感なく146.79~147.20の間で推移。今週は米国の重要経済指標の発表が相次ぐほか、翌日には日本銀行の氷見野副総裁による講演も予定されており、注目が集まっている。ドル円は147.15レベルでNY時間へと引き継がれた。
ニューヨーク	休場

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。